

活動の安全

危険予知トレーニング

危険予知トレーニングシートの使い方

1. 危険予知訓練の目的

作業や活動の状況のなかにひそむ危険要因とそれをひきおこす現象を小集団で話し合い、考え合い、分かり合って危険のポイントや重点実施項目を指差呼称で確認して行動する前に解決することを習慣づけるところにある。

2. 危険予知訓練の方法

危険予知訓練は実際にどのように行うのかというと

- 作業や活動の状況を描いたイラストシートを使って
「どんな危険がひそんでいるか」「その危険がどんな現象を生み出すか」をリーダーを中心にチームで活発に話し合っって危険要因を発見する。
- 「これが問題だ」として把握した危険要因を「解決するにはどうしたらよいか」を全員で短時間に考えあってチーム目標を決めることを反復訓練する。

危険のK、予知のY、訓練（トレーニング）のTをとってK Y Tという

3. K Y Tの進め方

イラストシートに描かれた、作業・活動の状況の中に、「どんな危険がひそんでいるのか」を、グループのメンバーで話し合う場合、次の問題解決の4つの段階（ラウンド）をへて段階的に進めていく。

ラウンド [※]	問題解決の 4ラウンド [※]	危険予知の 4ラウンド [※]	危険予知訓練の進め方
1 R	事実をつかむ	どんな危険が 潜んでいるか	みんなの話し合いで、イラストシートの状況の中にひそむ危険要因を発見し、その要因の引き起こす現象を想定する。 「～して～になる」「～なので～になる」というようにスカウト自身が発言していく。
2 R	本質（原因） をさぐる （本質追究）	これが危険の ポイントだ	発見した危険要因のうち、これが重要だと思われる危険を把握して、○印、さらに絞込んで◎印を付け、指差唱和する。

3 R	対策をたてる (対策樹立)	あなたならどうする	◎印を付けた要因危険を解決するにはどうしたらよいかを考え、具体的な対策をたてる
4 R	行動計画を決める (目標設定)	私達はこうする	対策のうち重点実施項目を絞りこんで※印をつけ、それを実践するためのチーム行動目標とワンポイント指差呼称項目を指定し指差唱和し、タッチ・アンド・コールでしめくくる。

なお、話し合いに入る前の準備として、次のことが、ひつようである。

- 準備するもの・・・イラストシート、模造紙、マジック（黒板、チョーク）
 - チーム編成・・・・・・通常１組を５～７人とする。
 - 役割分担・・・・・・リーダー（司会）、書記、必要によって発表者
 - 時間配分と項目数・・何ラウンドまでやるか、各ラウンドに何分かけるか、各ラウンドで何項目出すかなどをあらかじめ決めて、メンバーに知らせておく。
 - ミーティングの進め方、みんなで話し合うときの話し合い方として、次の３点に注意する。
 - ① 気楽な雰囲気で行おう
 - ② 全員どんどん発言しよう
 - ③ 論議しない、させない
 - ブレイン・ストーミングの４原則で、まず量を出そう
 - ① 批判禁止 よい悪いの判定をしない
 - ② 自由奔走 自由奔走に
 - ③ 大量生産 何でもよいからどんどん出す
 - ④ 便乗加工 他人のアイデアに便乗加工してよい
- 量の中のキラリと光る質の高いものを発見し合意しよう



どこがあぶないのかな？

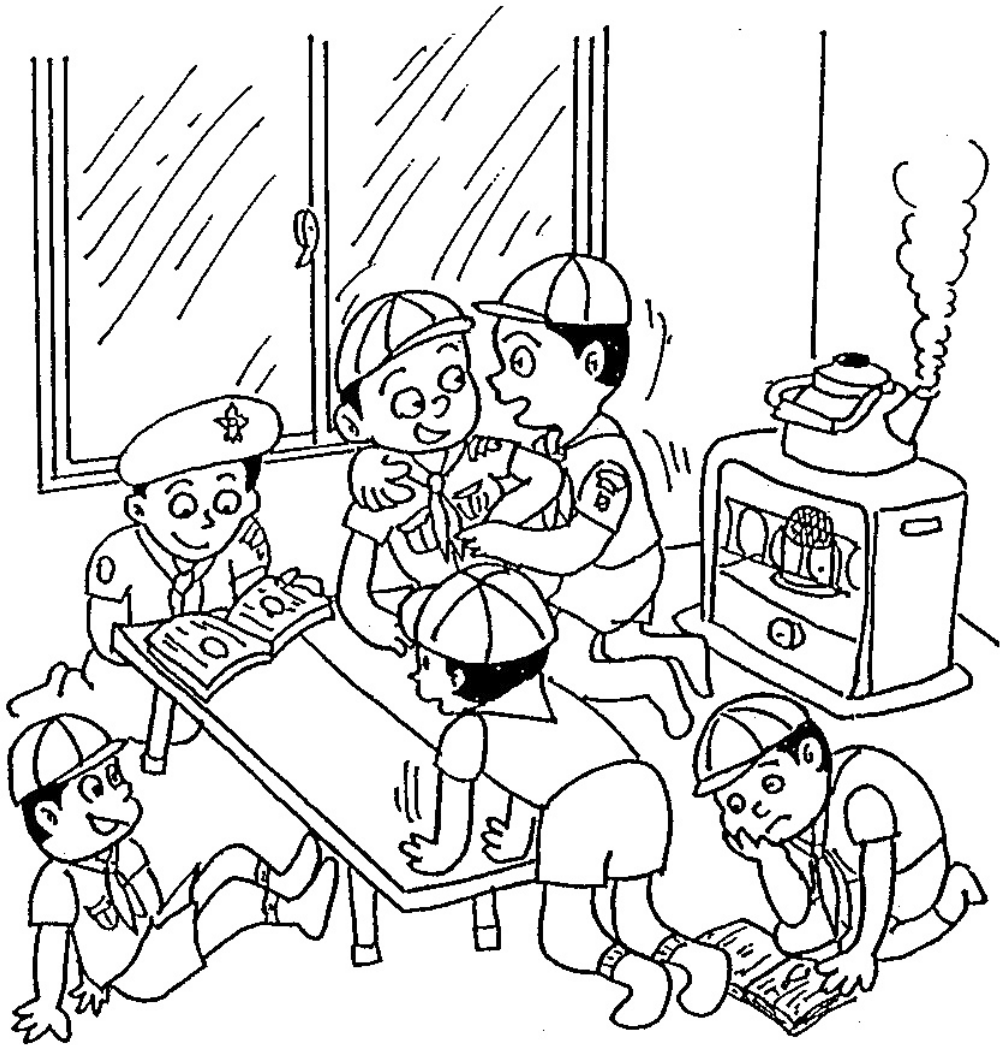
(状況)

集会に参加しようとしています。

スローガン 気のゆるみが事故をまねく。

- ① 話に夢中なので車がよけられない。
- ② 本を読みながら歩いていると電柱にあたる。
- ③ かさの先で人に、けがをさせる。
- ④ 道路でふざけながら歩いていると、とっさの時車をよけきれない。
- ⑤ ポケットにてを入れて歩くと転んだときケガをする。

みんなで考えよう



どこがあぶないのかな？

(状況)

せまい部屋で

集会の始まりを待っています。

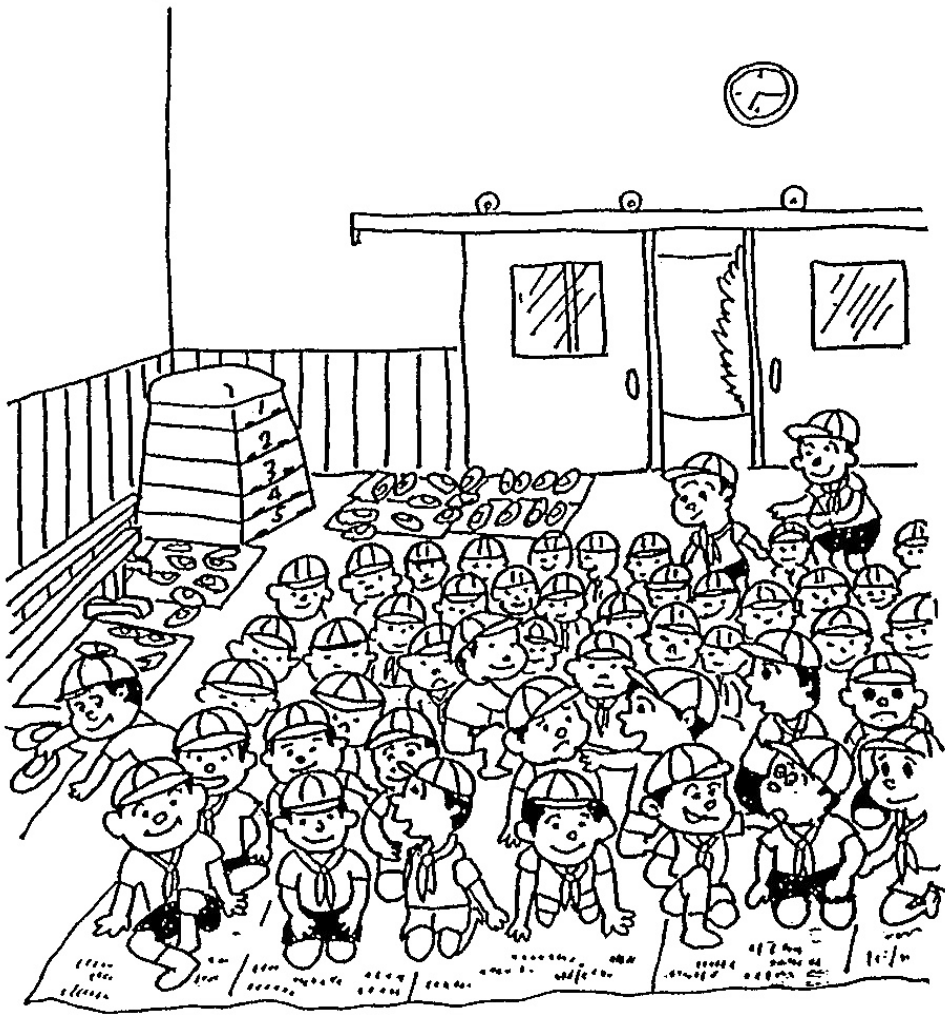
スローガン 集会を持っている時にもケガの危険

- ① ストープの前でふざけているとヤカンがひっくりかえりヤケドする。
- ② テーブルのはしに寄りかかるとテーブルがはねあがってケガをする。
- ③ 姿勢を悪くして本を読むと目が悪くなる。
- ④ 狭い部屋で窓をしめきってストーブをたくと酸欠の危険がある。

ワンポイント・アドバイス

- ◆ ストープの上にやかんを置かない
- ◆ 活動しているときよりも、待っている間、休憩時間で自由になっている時などの方がケガが多いようです。
- ◆ 一般にふざけ合いがエスカレートして、ケガをするといったケースが多く見られます。
- ◆ スカウトは楽しい行事には、早々と集まってくるものです。リーダーは早めに行っていることも心得のひとつです。

みんなで考えよう



どこがあぶないのかな？

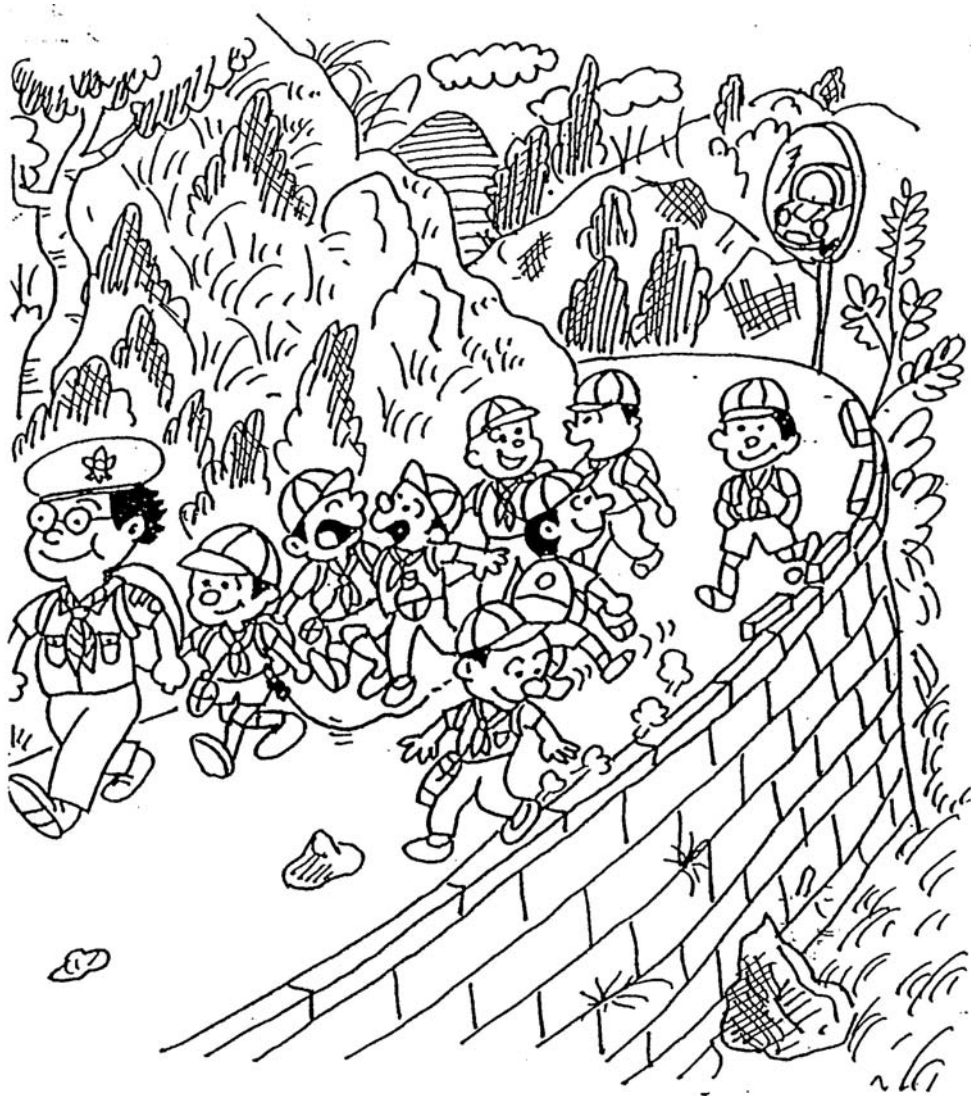
(状況)

集会がもうすぐ終わりのようです。そろそろ帰りかけている子もみえますが

スローガン 順序よく出よう

- ① 一度にみんなが出口に殺到すると転倒する。
- ② 帰り道、車に気を付けて帰ろう。
- ③ 寄り道をしないで帰ろう。

みんなで考えよう



どこがあぶないのかな？

(状況)

たのしそうにハイキングをしています。

スローガン 道路いっぱい歩かない。

- ① 道路いっぱい歩くと交通事故にあう。
- ② がけっぶちを歩くと足をすべらせて転倒する。
- ③ ロープをぶら下げて歩くと後ろのスカウトが踏んで転倒する。
- ④ 後ろ向きに歩いていると石につまずいて転ぶ。
- ⑤ ポケットにてを入れて歩くと転んだときにケガをする。
- ⑥ 話に夢中になっていると事故にあう。

ワンポイント・アドバイス

- ◆ 右側に1, 2列に並んで歩く。
- ◆ 前後左右、常に注意を配って歩こう。

みんなで考えよう



どこがあぶないのかな？

(状況)

これから工作を始めるところです。

リーダーが刃物の説明をしています。

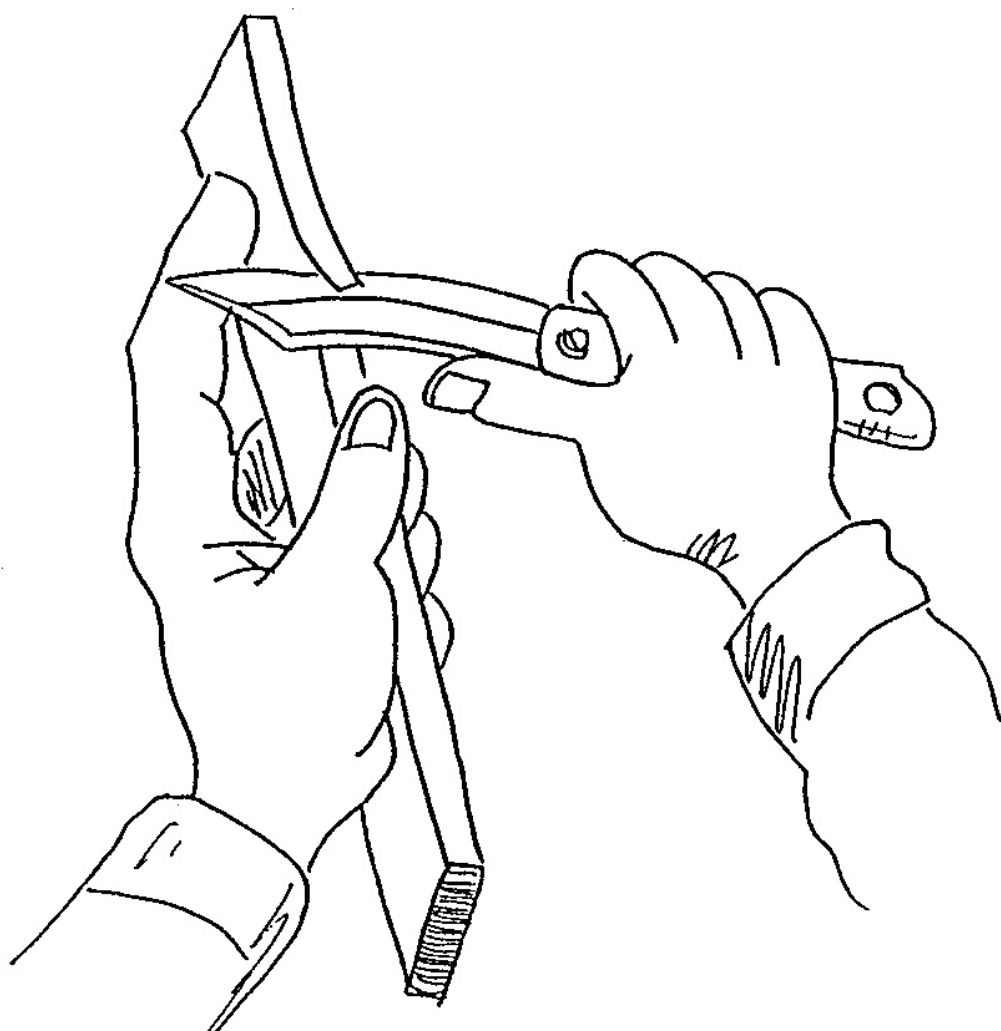
スローガン 危ない道具を上手に使おう

- ① 椅子がひっくりかえってケガをする。
- ② キリの先が道具箱から出ているので、スカウトが椅子から落ちて突き刺さる。
- ③ 材料が床の上に置きっ放しになっているので、スカウトが踏んで転ぶ。
- ④ 机の上に刃を出したままのナイフが置きっ放しになっているので、ケガをする。
- ⑤ 机の上や椅子の上にあるナイフ・カナズチ・ノコギリが落ちてケガをする。

ワンポイント・アドバイス

- ◆ 道具や材料の整理整頓は安全の第一です。習慣づけるようにしたい。
- ◆ 竹細工では、そぎ落としを指に突き刺すこともあるので注意したい。

みんなで考えよう



どこがあぶないのかな？

(状況)

おりたたみナイフを使って工作をしています。

スローガン ナイフを上手に使おう

- ① 右手の親指がナイフの背に当てているので、刃が折りたたまれて指を傷つける。
- ② 左手の人差し指がナイフの前にでているので、指を切る。
- ③ 左手の材料の板の持ち方がよくないので、ナイフでけがをする。

ワンポイント・アドバイス

- ◆ ナイフはよく研いでよく切れるようにしておく。
- ◆ 「刃先に指を出さない」「材料をしっかり固定する」は刃物使いの一般に言えることです。
- ◆ スカウト達は昔に比べて経験不足ですから、使う前に指導者が“正しい刃物の使い方”を実際にやって見せること。
- ◆ 「刃物は投げない」「置き放しにしない」が原則です。

みんなで考えよう



どこがあぶないのかな？

(状況)

スイカわりをしています。

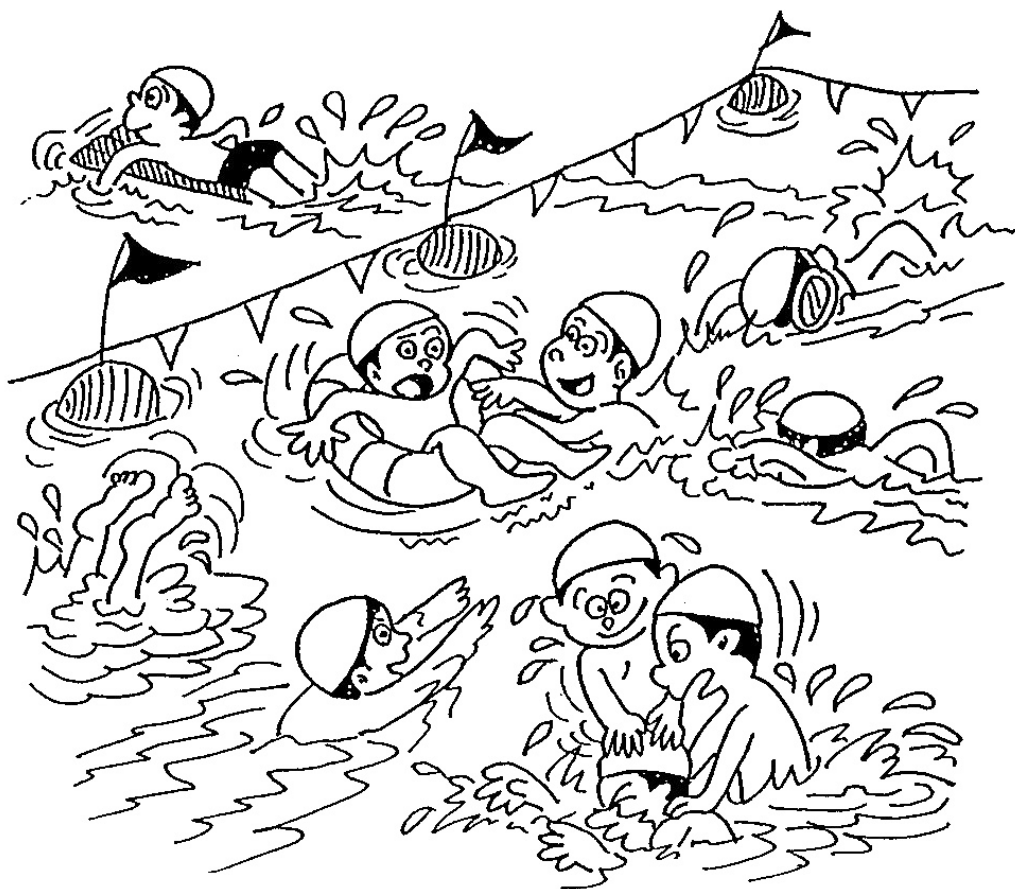
スローガン ゲームにも危険がある

- ① 足元にある棒や缶につまづいて転ぶ。
- ② スイカの近くにいるスカウトをたたいてケガをさせる。

ワンポイント・アドバイス

◆ いつも整理・整頓に気を付けて棒や缶を片付ける。

みんなで考えよう



どこがあぶないのかな？

(状況)

みんなで楽しそうに海水浴をしています。

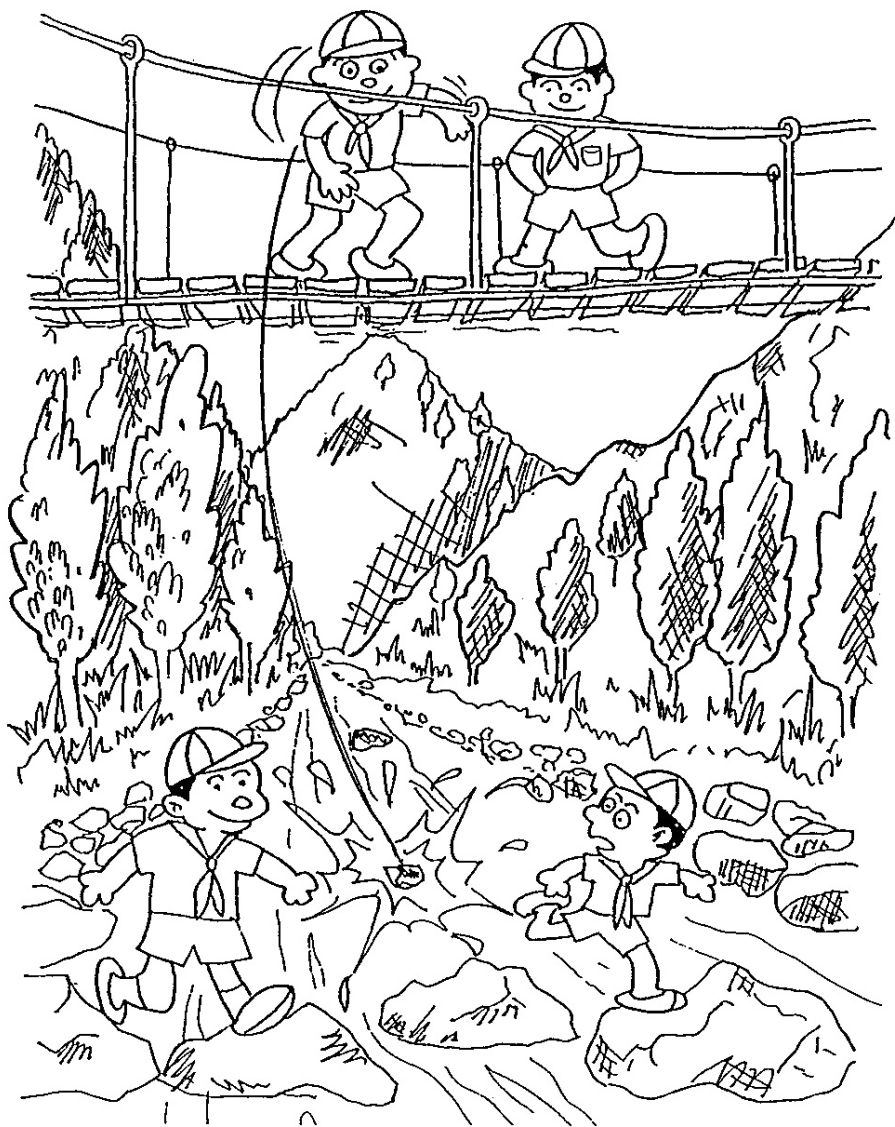
スローガン 水泳には危険がいっぱい

- ① 水泳区域の外へ出て、沖の方へ出て行って溺れる。
- ② 前方を注意しないで泳いでいるスカウトが衝突する。
- ③ 浮き輪のスカウトが、ひっくり返って溺れる。
- ④ ふざけて沈められているスカウトが、息が出来なくなる。
- ⑤ 潜水しているスカウトが溺れる危険がある。

ワンポイント・アドバイス

- ◆ 水泳前には必ず準備体操する。
- ◆ 水の中では悪ふざけをしない。
- ◆ 海では岸と平行に泳ぐ。
- ◆ 決められた区域を守る。
- ◆ 食事直後、空腹時は泳がない。
- ◆ ふざけて溺れる真似をしない。
- ◆ むやみに潜水しない。
- ◆ 泳げないスカウトをからかわない。
- ◆ 自分の泳ぎの実力を考えて、無理をしない。
- ◆ 指導者の注意をよく守る。

みんなで考えよう



どこがあぶないのかな？

(状況)

川を渡っています。

スローガン 安全に渡ろう

- ① つり橋の上で手をポケットに入れて歩くとバランスが崩れたときに橋から落ちる。
- ② つり橋の上から石を投げると下のスカウトに当たる。
- ③ 石づたいに川を走って渡ると転ぶ。
- ④ 石にコケが付いていてすべって川に落ちる。
- ⑤ つり橋のロープが切れて川に落ちる。
- ⑥ 川の水が急に増えて流される。

ワンポイント・アドバイス

- ◆ 足元の注意
- ◆ 川渡りはゆっくりと
- ◆ つり橋の強度、腐り具合の確認
- ◆ 雨上がりの後の増水に注意

みんなで考えよう



どこがあぶないのかな？

(状況)

おモチつき大会が始まります。

みんなわくわくしているようですが。

スローガン 楽しいモチつき大会は要注意

- ① タイミングが狂って杵とり（おモチをこねる役）の手をつくおそれがある。
- ② 杵の狙いがはずれると臼のフチに当たって、思わぬ方向に飛んでいきます。近くで見ているスカウトの頭や顔が危ない。
- ③ ツキ手の後ろで見ているスカウトに杵が当たる。
- ④ まわりのスカウト達が興奮しているので押し合いになってツキ手に倒れかかる。

ワンポイント・アドバイス

- ◆ “モチつき大会”は家庭でやらなくなっただけに、スカウト達にとって人気のある行事のひとつですが、慣れていないので特別な注意が必要です。

みんなで考えよう



どこがあぶないのかな？

(状況)

キャンプファイヤーでスタンプをしています。

スローガン キャンプファイヤーの火傷にきをつけよう

- ① スタンツをしているスカウト達が突き飛ばされて、火の方に倒れる。
- ② バケツやマキにつまづいて転倒する。
- ③ スタンツがふざけっこになって、転んでしまう。
- ④ スタンツのつもりだったのが、本気になって、転んでしまう。

ワンポイント・アドバイス

- ◆ 暗闇での活動だから、十分にそれぞれが注意して行動する。
- ◆ たき火場のまわりに物を置かない。
- ◆ まきやバケツ、灯油などは円周の外側に整理しておこう。
- ◆ スタンツでは、あくまでもお芝居だということを強調して、ふざけないように注意しよう。